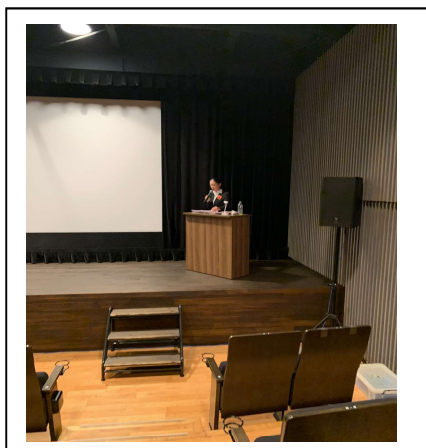


(活動報告書様式)

団体名	らくがき倶楽部		
事業名	三世代交流事業 「子供らくがきクラブ・日本の伝統話芸のワークショップ」		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型) 【テーマ：イオン・さくらんぼWAON子どもの健全育成支援事業】		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	411,000 円
		うち助成金額	361,000 円



●事業目的

当倶楽部は、藤沢周平ゆかりの文芸団体として長く地域で文芸活動や芸術・芸能活動を行ってきたが、近年会員の高齢化のほか、若者世代、子供世代との交流機会がなくなってきたことから、映画のカツベン士の体験や街頭紙芝居、また鶴岡出身の童話作家・安倍季雄が提唱した「創作口演童話」などの体験ワークショップを開催し、孫世代と祖父母世代の交流を図りたいと企画した。

●事業内容

①11月3日 昭和語り体験ワークショップ「カツベンと街頭紙芝居体験」

酒田市出身のカツベン士佐々木亜希子氏を招いてワークショップを体験した。会場としては、来年リニュ

ーアルオープンを予定している「鶴岡まちなかキネマ(山王町)」のテスト上映会の機会として、また山王商店街が主催する市民講座「山王きねまち大学」との共催で実施した。上映作品は、マツタ映画社よりのレンタルで、「日本で最初のアニメ映画・一寸法師ちび助の冒険」と小津安二郎監督作品「突貫小僧」を、映画会社「ワイ・プランニング」から上映していただいた。

参加者約 50 名

コロナ禍により、街頭紙芝居の実演を予定していた大阪の「手づくり紙芝居館館長・大塚珠代さん」については、ロビーでのビデオによる出演となった。

②12月25日 鶴岡市出身童話作家・安倍季雄の口演童話を学ぶ会と創作口演童話

のワークショップ「安倍季雄の功績」についての講演と、創作による口演童話の実技について、当初、名古屋から全国童話人協会より講演と実演を予定していたが、こちらもコロナ禍により名古屋からの参加が中止となり、らくがき倶楽部会員の中村恵二が、「安倍季雄の功績」の講演と、実技として「創作口演童話・斉藤弘吉物語」を紹介した。

●事業の成果

子どもたちにとっては、昭和の話芸のカツベン、街頭紙芝居、口演童話の体験機会となり、当倶楽部でも世代交流の機会が持てた。

●今後の展望

これを機会に、子供世代に対しては、地方の文芸活動への参加を呼び掛けるいい機会ともなった。

今後とも高齢世代と子供世代との交流機会や、日本の文化をこどもたちに継承する目的については、イベントに頼らず、別の手法などでも継続していきたい。

恨むべきはコロナ禍だったと思う。